「賢明な支出」の条件～すべての財政出動にスクリーニングを～

景気の後退
＋
厳しい財政状況

財政出動は、「ばらまき」ではなく
「賢明な支出（Wise Spending）」が必要

財政出動を伴う経済対策

政府が政策目標や経済効果につき説明責任を負う

賢明な支出のためのスクリーニング

1．政策目標との整合性
- 中長期的な政策目標の実現に資するものであり、実現に向けた道筋が明確であること

2．経済効果
- 短期的な需要追加が大きく、中長期的な負担は小さいこと
- 短期的な需要追加は小さいが、中長期的な需要喚起効果は大きい

賢明な支出

1．セーフティネット型支出
- 救済のための支出

- 緊急性を要するもの
- 期間・対象を限定
- モラルハザードを生じない

2．社会資本整備型支出
- 民間資金の活用も考慮した、国や地方が行う公共事業に対する支出

- 短期的に高い需要喚起効果
- ランニングコストの考慮
- 将来を見据えた社会基盤整備

3．将来投資型支出
- 即効性のある需要追加よりも、中長期的な成長・発展の実現に向けた道筋、目標との関連性が明確な支出

- 中長期的な政策目標の実現
- 市場をかく乱しない
- 戦略性・首尾一貫性

必要条件

パフォーマンス・チェック
- 事後評価を可能とする明確な政策目標や期待される効果の明示
- 基金造成時には、その使途の情報公開・適切な評価の実施
- 「緊急経済対策評価委員会（仮称）」によるカテゴリ別の3～5年単位での評価

出口戦略
- 経済対策の施策を中止ないし継続するための条件・期間の明確化

優先度
- 政策目標に照らして優先分野を絞り込み、効果が最大に発揮されるように重点的に資金配分
- 経済状況に応じた施策の実行

財政出動以外の経済対策の必要性

減税　　規制改革

経済成長